

関係各位

福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業  
統括責任者 石川秀也

## 北海道若手福祉従事者キックオフイベントのご案内

現在、福祉の現場は従事してから3年未満の者の離職率が高く、次世代の福祉を担う若手福祉従事者の確保が課題となっています。しかしこの状況に反して、福祉・介護系大学等への進学者数は減少傾向にあり、このことは福祉現場においても人材不足をまねく大きな要因となっています。こうした状況に対応するべく、今後は大学と福祉施設等が積極的に連携を図り、若手福祉従事者が誇りとやりがいを持って仕事に取り組むことのできる支援体制の構築を目指し、福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業を実施しています。

この度、本事業のさらなる発展と今後の展望にご理解とご協力を賜るべく、研修会を開催いたします。すでに本事業へご協力いただいている方はもちろんのこと、新たに参加していただける方にとっても福祉の力やさまざまな問題に共感していただける研修会になるのではないかと考えております

お忙しいこととは存じますが、将来の福祉のことを一緒に考えるきっかけとなり、参加者の皆様の新たな出会いとつながりを紡げればと企画致しましたので、ご参加いただければ幸いです。

高校生・大学生・若手福祉従事者の皆様は勿論のこと、多くの関係者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 会場

日時：平成23年5月14日(土) 13:00～17:00 (開場12:30～)

場所：北海道自治労会館 4階ホール  
(札幌市北6条西7丁目5-3)

参加費：無料 定員：200名

申込み方法：別添の申込用紙に必要事項を記入し、FAXまたはメールにて事務局までお送りください。

\*申込み締め切り：5月6日(金)まで

\*イベント後に交流会を予定しております。交流会参加費(一般3,500円 学生1,000円)は当日受付にて徴収します。(参加費は予定金額です。変更になる場合は、追ってご連絡させていただきます)

\*昼食はご用意いたしません。会館内にレストランが併設されています。

\*会館内はバリアフリー対応になっております。障がい者用のお手洗いは地下1階にございます。

\*喫煙は決められたスペースでお願いいたします。

### 事務局

主催：福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業

事務局(問い合わせ)：北海道医療大学 山下あゆみ

TEL/FAX:0133-23-1263

E-mail:snw@hoku-iryo-u.ac.jp



くさかり樹さんの公式HPより  
[http://kusakariki.net/about\\_me.htm](http://kusakariki.net/about_me.htm)

漫画「ヘルプマン！」作者

## くさかり樹 さん

高知県高岡軍日高村出身。

ペンネームは日高村の地名「日下(くさか)」と当時ファンだった俳優のリッキー・ホイからとったが、本人によると、一時は「草刈り機」と間違われた。

高校卒業後、高知市内の通所授産施設に勤務。

1980年に「ひとつちがいのさしすせそ」でデビュー。

「あたしが伝説」「ケイリン野郎」「永遠の都」など著書多数。2003年から若者の目を通して福祉業界の現状や問題を描く「ヘルプマン！」の連載を開始し反響を読んでいる。

# Program

【5月14日(土)】

time	program
12:30-	<b>開 場 (受付案内)</b>
13:00-14:30	<b>基調講演 「漫画ヘルプマン!と現場実践からみる、介護の楽しさとは・・・」</b> <b>講師：くさか里樹さん (漫画「ヘルプマン!」作者)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>漫画という形で福祉を問い続けるくさかさん。 自身も福祉施設の職員だったという経験をもっており、日本人にもともと備わっている善良な気質が高齢社会によって蘇りはじめていくという希望を持っておられます。 福祉・介護事業の現状とさまざまな課題が直面する中で、前向きに理想的な介護をするためにはどうしたらいいのか? これからの若手従事者に期待することは? 誇りと自信をもって仕事をやる糸口になるような多くのメッセージを届けてもらいます。</p></div>  <p style="text-align: right; font-size: small;">©講談社/ヘルプマン!</p>
14:30-14:45	<b>休 憩</b>
14:45-16:15	<b>若手福祉従事者実践報告会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 高齢者ケアの視点から：石川 哲也 (有限会社アウルグループホームアウル登別館)</li><li>■ 障がいケアの視点から：横田 雅之 (社会福祉法人栗山ゆりの会ハロ-ENJOY 岩見沢)</li><li>■ 相談支援の視点から：川岸 正和 (社会福祉法人北海道友愛福祉会静苑ホーム)</li></ul> コメンテーター：くさか里樹さん 進行：藤本一貴 (社会福祉法人当麻かたるべの森共生舎) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>若手福祉従事者がそれぞれの仕事・悩みを報告します。 同じような世代または職種で活躍している方の実践報告は、刺激にもなりますし励みにもなります。また昨年末に全道で実施した【若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート調査】でも、「ほかの職場の状況が分かる実践報告」の開催を望む声が圧倒的に多く寄せられました。 実は自分と同じよう悩みをかかえている人たちがいるかもしれません。ここで新たな自分の仲間を見つけてみませんか? 職場を越えたつながりやネットワークは、ステップアップの1つになること間違いなしです。またコメンテーターとして、引き続き、くさか里樹さんにも参加していただく予定です!</p></div>
16:15-16:45	<b>イベント総括及び福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業説明</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>介護の楽しさ・実践から見る福祉の仕事の希望と悩み…いろいろな角度から見た福祉のカタチでしたが、今回のフォーラムを総括して、みなさんと一緒に明日からのヤル気と今後の展望を共有していきたいと思えます。また、若手福祉従事者のサポートネットワークシステムの確立と人材の定着等を目的とした、「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業(北海道委託事業)」について改めて説明致します。</p></div>
18:00-	<b>交 流 会</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>世代を超えて、同職種・異職種の方々と交流ができ、話し合うことのできる貴重な機会となりますので、都合のつく限り是非! ご参加ください。</p></div>